

1 指定管理施設の概要

施設名	青葉山ろく公園(グリーンスポーツセンター、パターゴルフ場、多目的広場等)		
指定管理者	一般財団法人舞鶴市スポーツ協会		
設置目的	自然とのふれあいや憩いの場、レクリエーションの場を提供し、野外活動・体験活動を通じて青少年の健全育成に寄与し市民の余暇活動の充実を図る場とするため。		
選定方法	公募	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
所管課	生涯学習部生涯学習推進課、生涯学習部スポーツ振興課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度	令和7年度			
利用者数(人)	7,249	6,309			
利用料金(円)	2,585,450	2,498,725			
指定管理料(円)	25,280,000	25,692,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
グリーンスポーツセンター	7,400人	7,400人	3,886人	52.5%
パターゴルフ場	5,500人	5,500人	2,423人	44.1%
(自主事業)グリーンスポーツセンター	2回以上	2回	8回	400%
(自主事業)パターゴルフ場	2回以上	2回	10回	500%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	2,498,725	人件費	18,977,294
指定管理料	25,692,000	維持管理費	8,360,355
事業収入	498,900	事業費	289,875
その他	771,242	その他	1,536,913
合計	29,460,867	合計	29,164,437
差額			296,430

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	前年度と比較して利用料金、利用者数とも減少しているが、利用者が公園を楽しめるよう、利用者目線のイベント等の企画の実施により積極的に運営がされ、イベントの積極的な情報発信も行っていた。また、令和5年度より宿泊予約のネット予約、Paypay決済の導入により、利用者の利便性の向上に取り組んでいる。パターゴルフ場では、ポイント制や回り放題プラン、団体割引による多くのリピーター獲得策、幅広い世代の意欲を掻き立てる様々な競技大会が開催された。利用者の安全性の確保のための樹木伐採等や有害鳥獣の糞除去等の環境整備に取り組んでいた。 令和7年度は青葉山ろく祭りを開催し、当施設の発展に努めていた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	青少年の健全育成に寄与し、市民の余暇活動の充実に資するため、幅広い年代層を取り込めるような様々なイベント等を行うなど、適切な運営を行った。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	野外活動を通じ、青少年の健全育成に寄与し、市民の余暇活動の充実に資するため、幅広い年代層が参加できるイベント等を通じ適切な運営を行った。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	年間目標以上の、多くの自主事業を実施されている。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	丸太パズル、謎解きイベント、宝探しゲーム、ウォーキング事業、青葉山ろく祭りなど、子どもから高齢者まで幅広い年代層を取り込めるようなイベント等の企画、パターゴルフ場の大会開催など集客につなげる取組が実施されている。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	ネット予約による宿泊予約を開始され、利用者の利便性が上がった。常に利用者目線に配慮したサービス向上策を実施、利用者からの要望は積極的に実施し満足度向上につなげた。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	アンケート実施など、積極的に利用者の声を聞き取るよう工夫が見られた。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	アンケートの実施や利用者の苦情等聞き取りにより、滑り台の修繕、グリーンスポーツセンター利用者の円滑な入退場等、利用者の希望、要望等は速やかに聞き入れ対応している。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	業務委託の直営化、マルチスタッフの更なる育成充実による柔軟な人員配置、職員のコスト意識を向上させ、節電・節水に努め、スタッフによる修繕等、常に施設内の経費削減を実施している。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	職員で可能な修繕は積極的に実施、地元住民と共同した環境美化等を積極的に実施した。
収入増加のための取組が行われたか	○	子どもから高齢者まで幅広い年代層を取り込めるようなイベント等の企画、バターゴルフ場の大会開催など集客につなげる取組が実施されている。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	マルチスタッフの配置など適切な運営体制が図られている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	接待研修、マルチスタッフ育成、作業器具の取扱い、安全研修など能力向上に取り組んでいる。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	パトロールにより巡回点検、遊具の定期点検、早めの修繕を随時実施し、危険個所の排除をするとともに、遊具の点検マニュアルを作成するなど対策が取られている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上	宿泊予約のネット予約、キャッシュレスサービスを導入したことにより、利用者の利便性が向上している。幅広い年代層が楽しく参加しやすいイベント等の実施、ポイント制によるリピーターの獲得、公園全体を使ったウォーキング、ヨガ教室、さらに利用者ニーズに応えたバターゴルフ場の12月の冬季開設など、新たな利用者獲得に向けた取組も実施されてきた。	
経費削減	職員及び利用者の経費節減意識を向上させ、常日頃から節電・節水に努め、修繕などは、職員で可能なことは職員で実施し、また、環境美化は地元住民と協働実施するなど主体的な経費削減対策を実施している。また、マルチスタッフのさらなる育成充実させ、効率的な人員配置と職員の能力向上にもつなげている。	
施設の維持・管理	パトロールによる安全確認、定期的な遊具点検と点検マニュアルの活用、早目の修繕対策など、施設の長寿命化、利用者への安全を図り、また側溝・池の土砂、泥除去や花壇の管理や受付周辺の修飾など施設美化の工夫をしながら利用促進につなげている。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.00点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・利用人数は目標を下回っているが、自主事業の回数が目標を上回っている点と収支が黒字である点は評価できる。 ・天候や動物による影響を受けながらも管理運営されており評価できる。 ・目標に対して利用人数が少ないため、目標値を変更してはどうか。 ・広場も含め実際の利用人数を把握するために工夫をしてほしい。 ・利用者の安全安心のために遊具の修繕は必要。	

《参考》 過年度の評価点

令和6年度				平均
3.16点				